

各位

2002年10月16日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年9月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	2.0	3.5	±0日
横浜店	1.5	6.7	±0日
新宿店	7.8	1.1	+1日
関東9店計	1.1	0.5	
大阪店	3.6	8.6	±0日
京都店	1.9	4.1	±0日
関西9店計	1.2	3.7	
全店計	0.1	1.3	
法人事業	21.2		
通信販売事業	7.5		
広域事業(店外)計	15.7		
合計	1.1		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建装事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	3.4
婦人服・洋品	0.3
子供服・洋品	1.2
その他の衣料品	0.7
衣料品計	1.0
身の回り品	3.9
家具	9.5
家電	13.7
その他の家庭用品	1.2
家庭用品計	4.3
食料品	2.2
食堂・喫茶	3.4
雑貨	4.2
サービス	3.3
その他	10.6
合計	1.1

概況

百貨店事業	<p>売上高は継続的な改装効果に加え、営業日や営業時間を拡大した新宿店・横浜店・堺店(+12.6%)や、同じく営業日1日増の柏店(+4.6%)等が牽引、大阪店・京都店や耐震・リニューアル工事中の東京店のマイナスをカバーし、全店計では2ヵ月連続で前年実績を上回った。</p> <p>商品別では、化粧品やアクセサリ等が牽引した婦人雑貨(+6.6%)や食料品(+1.1%)等は好調に推移したものの、月前半の厳しい残暑の影響で秋物衣料の動きが鈍かった婦人服(3.9%)や紳士関連(紳士服: 2.5%、紳士雑貨: 1.9%)、子供服・ベビー(0.6%)、スポーツ(1.7%)等は前年実績を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口受注の不調、通信販売事業はファッション関連の健闘はあったものの、リビング用品・食料品等の不振により、ともに前年実績を下回った。</p>

以上